

環対協企業による カーボンニュートラルの取組み

2022年8月14日

大気部会長：味の素

1. 自社の事業活動関係

- ▶ 燃料転換：重油⇒LNG、石炭⇒LNG
水素・バイオ燃料などの使用
- ▶ 製造プロセスなどの合理化：工程短縮、廃液や副生物の抑制
原料ロスの削減
- ▶ スチーム・電力削減：スチームトラップ管理、DX推進による自動発停
- ▶ コージェネレーションシステム導入などによる排熱利用
- ▶ 高効率機器への転換：冷凍機、電動機、空調機、コンプレッサー
インバーター化
- ▶ 省エネ照明：蛍光灯⇒LED、水銀灯⇒LED
- ▶ 工場エネルギーの可視化：部署毎、高負荷機器など
- ▶ 環境目標の設定
- ▶ 環境標語の募集や表彰、また削減提案制度による啓蒙活動
- ▶ 勉強会の開催

2. 購買エネルギー・再エネ導入

- ▶ 自社グループ集中購買：電力・ガスなど
- ▶ 再エネ電力購入（証明書）
- ▶ 自社内再エネ電力設備の導入検討：太陽光発電システム導入検討（PPA等）
風力発電事業の推進（陸上・洋上風力）
地熱、バイオマス発電事業
- ▶ 水素ボイラー活用による購入スチーム削減
- ▶ 人工光触媒技術の開発：水素製造、CO2資源化（プラ原料化）

3. 輸送

- ▶ モーダルシフトの検討：船、JR貨物など
- ▶ 荷姿変更による輸送効率アップ：大型化、荷姿変更（ISOコンテナなど）
- ▶ 合理的な輸送ルートの設定（新設道路利用による輸送距離短縮）
- ▶ 自社調達部門や顧客・取引先との連携（バリューチェーン全体）
：まとめ発注による輸送回数削減、混載利用など
- ▶ 配車システム導入による効率化配車の推進
- ▶ サービスステーションへのEV充電器設置
- ▶ EVのカーリース、カーシェア推進

4. 廃棄物の削減・リサイクル

- ▶ 排水処理設備：処理条件検討による活性汚泥減容検討・水分削減検討（脱水・乾燥）
- ▶ プロセスや設備使用条件の検討による廃水・廃液の削減
- ▶ 燃焼効率最適化による石炭灰排出量の削減
- ▶ 使用済み有機溶媒のリサイクル化
- ▶ プラスチック廃棄物（PET・PP樹脂、フレコンBなど）のマテリアルリサイクル
- ▶ ガラスのリサイクル
- ▶ 電子媒体促進などによるペーパーレス化
- ▶ 自社ユニフォーム（PET樹脂使用）の完全リサイクルシステム導入（全社対応）
- ▶ 製品梱包材の削減やリユース：プラ素材⇒紙、減容など
- ▶ ヘルメット・安全靴・長靴などのリサイクル
- ▶ 包装仕様変更によるドラムリース化
- ▶ 事業所内のプラスチック廃棄物の実態調査（法律対応含む）
- ▶ グループ会社間や社内委員会などの開催による情報交換

5. その他

- ▶ 空調温度の適正化：規定温度設定、設定ロック、タイマー設定
- ▶ 自動点灯式照明の設置
- ▶ 昼休憩時の消灯
- ▶ 社用車の低公害車導入：ハイブリッド車
- ▶ CCUの検討（大気放出前のCO2再利用）
- ▶ CO2由来原料の製造技術検討
- ▶ 事務機器の待機/電源断の徹底
- ▶ 毎週水曜日のライトダウン推進
- ▶ クールビズの推進（通年実施）
- ▶ エコドライブの推進（事業所間移動時の乗り合いなど）
- ▶ カーボンニュートラル検討チームの発足